



# Cisco Elastic Services Controller のインストールに関するトラブルシューティング

- [Cisco Elastic Services Controller のインストールに関するトラブルシューティングの概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Elastic Services Controller のインストールの OpenStack ログイン情報が機能しない \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Elastic Services Controller のインストール中に証明書の検証が失敗する \(3 ページ\)](#)
- [bootvm.py スクリプトがエラーで失敗する \(4 ページ\)](#)

## Cisco Elastic Services Controller のインストールに関するトラブルシューティングの概要

ESC では、OpenStack および Libvirt (KVM) 環境でのインストールに `bootvm.py` と呼ばれる Python ベースのスクリプトが使用されます。`bootvm.py` スクリプトの全引数については、[Cisco Elastic Services Controller インストールおよびアップグレードガイド \[英語\]](#) を参照してください。ESC イメージとともにリリースされた特定の `bootvm.py` を使用することが重要です。

`bootvm.py` は、ESC OpenStack インストール用の Python および OpenStack クライアントに依存しています。`bootvm.py` を実行する予定の環境に、Python および OpenStack クライアントがインストールされていることを確認します。

## Cisco Elastic Services Controller のインストールの OpenStack ログイン情報が機能しない

問題に関する説明：

`bootvm.py` を実行して ESC をインストール中にエラーが発生する場合があります。一般的なエラーの 1 つは次のとおりです。

- OpenStack ログイン情報のエラー

**説明：**

bootvm.py の実行後に長い Python スタックトレース情報が表示された場合、エラーメッセージの下部にある数行を確認する必要があります。次に例を示します。

```
Unauthorized: The request you have made requires authentication. (HTTP 401) (Request-ID:
req-e93d90b0-aced-4b88-b4ca-bcc3d88e8bc0)
The request you have made requires authentication. (HTTP 401) (Request-ID:
req-e93d90b0-aced-4b88-b4ca-bcc3d88e8bc0) -- Booting up ESC VM has failed.
```

**ソリューション：**

このようなシナリオでは、bootvm.py 引数またはグローバル環境（bootvm.py 引数で指定していない場合）で OpenStack ログイン情報を確認する必要があります。

以下に、グローバル環境を介して OpenStack ログイン情報パラメータを確認する例を示します。

```
$ env | grep OS_
OS_USER_DOMAIN_NAME=default
OS_IMAGE_API_VERSION=2
OS_PROJECT_NAME=admin
OS_IDENTITY_API_VERSION=3
OS_PASSWORD=cisco123
OS_AUTH_TYPE=password
OS_AUTH_URL=http://10.85.103.145:35357/v3
OS_USERNAME=admin
OS_TENANT_NAME=admin
OS_PROJECT_DOMAIN_NAME=default
```

他の OpenStack クライアント（OpenStack、Nova、Neutron など）と同様、bootvm.py は、OpenStack に ESC をインストールするために使用されます。bootvm.py の次の引数を使用して、OpenStack ログイン情報を ESC インストーラに渡すことができます。

```
--os_auth_url
--os_username
--os_password
--os_tenant_name
--os_project_name
--os_user_domain_name
--os_project_domain_name
--os_identity_api_version

--bs_os_auth_url
--bs_os_username
--bs_os_password
--bs_os_tenant_name
--bs_os_project_name
--bs_os_user_domain_name
--bs_os_project_domain_name
--bs_os_identity_api_version
```

bs\_ で始まるブートストラップ引数は、OpenStack での ESC インストールにのみ使用され、os\_ で始まる引数は、（ESC 3.x のデフォルトの VIM コネクタとして）ESC が VNF ライフサイクル管理を実行するために使用されます。

これらの引数を指定しない場合、ESC は、ESC のインストールと VNF ライフサイクル管理の両方に対して、Linux のグローバル環境変数から同じ OpenStack ログイン情報を使用します。OpenStack クライアントと同様に、OpenRC ファイルを作成し、そのファイルをソースにしてグローバル環境変数を追加できます。

OpenStack V2 API の場合、次の項目をグローバル環境変数にエクスポートする必要があります。

```
OS_PASSWORD
OS_AUTH_URL
OS_USERNAME
OS_TENANT_NAME
```

OpenStack V3 API の場合、OpenStack V3 API を使用するには OS\_IDENTITY\_API\_VERSION=3 を設定する必要があります。次の項目をグローバル環境変数にエクスポートする必要があります。

```
OS_USER_DOMAIN_NAME
OS_PROJECT_DOMAIN_NAME
OS_PROJECT_NAME
OS_TENANT_NAME
OS_PASSWORD
OS_AUTH_URL
OS_USERNAME
OS_IDENTITY_API_VERSION
```

## Cisco Elastic Services Controller のインストール中に証明書の検証が失敗する

問題に関する説明：

OpenStack が自己署名証明書を使用して設定されているが、ESC インストール用の ca\_cert ファイルを提供していない場合、次のエラーが発生する可能性があります。

```
SSLERROR: SSL exception connecting to https://10.85.103.49:35357/v3: [SSL:
CERTIFICATE_VERIFY_FAILED] certificate verify failed (_ssl.c:590)
SSL exception connecting to https://10.85.103.49:35357/v3: [SSL: CERTIFICATE_VERIFY_FAILED]
certificate verify failed (_ssl.c:590) -- Booting up ESC VM has failed.
```

ソリューション：

bootvm.py は、特定の CA 証明書の ESC インストールに対するコマンドラインで渡される引数を提供しません。OpenStack エンドポイントが https (OS\_AUTH\_URL を確認) と自己署名証明書で設定されている場合は、次の2つの環境変数をエクスポートし、グローバル環境を介して CA 証明書ファイルを設定する必要があります。

```
export OS_CACERT=<path_to_ca_cert_file>
export REQUESTS_CA_BUNDLE=<path_to_ca_cert_file>
```



(注) 以前のアプローチでは、VNF ライフサイクル管理ではなく、ESC インストール用の CA 証明書を指定していました。

VNF ライフサイクル管理に関する CA 証明書を渡す場合は、ESC の bootvm.py コマンドで次の引数を指定します。

```
--cert_file <path_to_ca_cert_file>
```

## bootvm.py スクリプトがエラーで失敗する

### 問題に関する説明：

bootvm.py スクリプトを実行して ESC VM を作成しているときに、次のエラーが発生し、bootvm.py スクリプトが異常終了する場合があります。

```
bootvm script fails with error "object of type 'NoneType' has no len()"
```

### 説明：

詳細が指定されていないか、部分的に指定されているため、bootvm.py スクリプトは OpenStack ログイン情報と接続の詳細の認証に失敗します。

### ソリューション：

最新の値をソースとする OpenRC ファイルがあることを確認してください。

次に例を示します。

```
export OS_USERNAME=admin
export OS_PASSWORD=<HIDDEN>
export OS_REGION_NAME=RegionOne
export OS_AUTH_URL=http://172.29.91.77:5000/v3
export OS_PROJECT_NAME=admin
export OS_USER_DOMAIN_NAME=Default
export OS_PROJECT_DOMAIN_NAME=Default
export OS_IDENTITY_API_VERSION=3
```

bootvm.py を再度実行する前に、OpenRC ファイルを入手します。

os\_<variable\_name>、つまり --os\_auth\_url=http://172.29.91.77:5000/v3 を使用して、bootvm.py に直接値を渡すこともできます。

同じエラーが引き続き発生する場合は、デバッグオプションを指定して bootvm.py スクリプトを実行し、出力をファイルにリダイレクトします。このアクションを実行するには、次のコマンドライン引数を追加します。

```
--loglevel DEBUG --log /tmp/esc-install.log
```

テクニカルサポートに連絡する際は、結果の esc-install.log ファイルを添付してください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。